

崇徳を延長タイブレークの末に下し、スタンドに駆け出す
八学光星ナイン19日、甲子園(大西稔介撮影)



光星初戦タイブレーク勝利

センバツ開幕

第98回選抜高校野球大会は19日、兵庫県西宮市の阪神甲子園球場で開幕した。東北地区代表の八学学院光星は中国地区代表の崇徳(広島)との1回戦に臨み、延長10回タイブレークの末、15-6で勝利。2024年以來の2回戦進出を決めた。

八学光星は序盤に4点を失う苦しい展開だったが、四回に佐々木龍馬の適時三塁打などで3点を返すと、七回には、4番DHの「大谷ルール」で先発していた北口晃大の右前適時打で追いついた。

さらに八回には菅沼晴斗が左越えに勝ち越しの2点本塁打。しかし、その裏に三つの失策が重なり6-6とされ、延長タイブレークに突入した。

十回、先攻の八学光星は6本の長短打を集めるなどして一挙9得点。北口は129球で完投した。

同日の開会式では、八学聖ウルスラ学院高の榎本

柁留さんが司会を担当。落ち着いた語り口で会場を包んだ。

八学光星は24日、「滋賀学園-長崎西」の勝者との2回戦(午後2時開始予定)に臨む。(千葉達也)

詳報 14、15頁
関連記事 23頁